指定管理施設の管理運営状況にかかる評価表　【 令和7年度分 】

施設名	東須佐サポートセンター「かがやきの家」	施設所管課	高齢者福祉課
指定管理者	社会福祉法人やまゆり	指定管理期間	令和5年04月01日 から 令和10年03月31日 まで

1．総合評価

市	【優れていると評価した点】 経費削減や施設維持管理に特に力を入れて取り組んでおり、良好な管理を実施している。また、利用者や地域住民に対して誠実な対応をして交流を深め、施設の評価を高めている。
	【改善すべき点】 地域の人口減少等の影響により、利用者確保が厳しい状況であるが、ＰＲ活動や事業内容の充実で更なる利用促進を図る必要がある。
指定管理者	【優れていると評価した点】 通所の稼働率の目標を高く掲げ、それに近づけるように意識をし受け入れている。計画的に成果を上げている。
	【改善すべき点】 コロナ感染症以降中断している自主事業について、地域の方々や子どもたちとのとの交流などを復活させて、多くの方に知ってもらうことができなかった。 事務作業等をスムーズに行う。

2．施設利用について

総括	地域のイベントへの参加、中学生・高校生等の実習・職場体験の受入等を行っており、地域に密着した施設になるよう努力している点が評価できる。

⑴ 収支状況の推移（自主事業を含む）

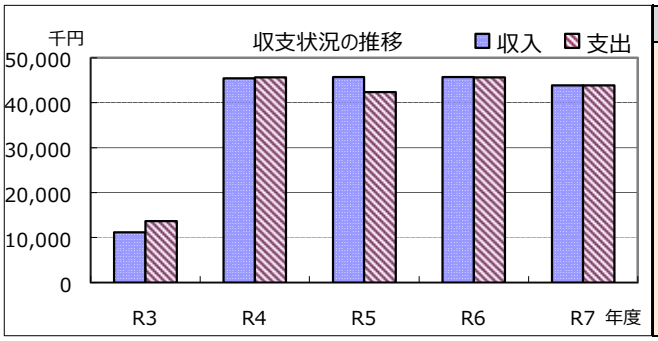
（単位：千円）

施設の収支	項目	R3	R4	R5	R6	R7
	収入	11,149	45,417	45,703	45,704	43,895
	うち指定管理料	560	428	560	560	380
	うち利用料	10,581	44,988	45,139	45,143	43,495
	その他	8	1	4	1	20
	支出	13,659	45,636	42,415	45,648	43,894
	差引	△ 2,510	△ 219	3,288	56	1

＜上記以外の市の収入、支出＞　（単位：千円）

市の収支	項目	R3	R4	R5	R6	R7
	収入（使用料）	0	0	0	94	94
	支出	6	502	64	1,974	128
	うち修繕費	0	495	11	1,967	121

※大規模修繕を除く

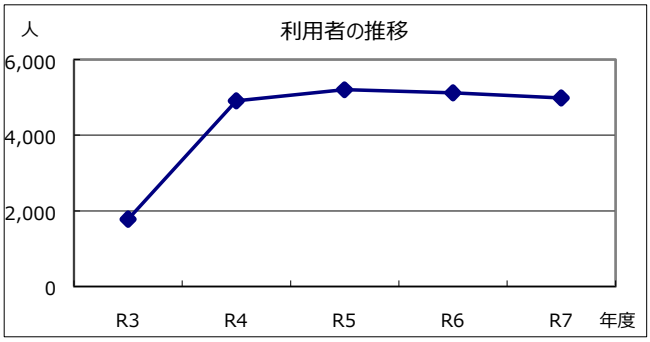


収入増・コスト削減に関する取組
通所の稼働率の向上ために、地域住民、利用者、居宅介護支援事業所等への声かけや職員の意識改革を行っている。また、省エネ対策やできるだけ安いものを購入するなどの経費節減を行っている。

⑵ 利用者の推移

（単位：人）

利用者	R3	R4	R5	R6	R7
	1,783	4,914	5,200	5,124	4,984



利用者の増に向けた取組・利用の動向
・社会福祉法人やまゆりが、令和4年度に佐田地域内のデイサービス事業所の再編を行ったため、当該施設が休止事業所に通っていた利用者の受け皿となったため、令和４年度から利用者数が大幅に増加した。 ・里家センターが令和7年度で廃止となったことから、乙立地区利用者の受け皿として期待される。利用者確保に努めているが、地域の人口減少等もあり、今後も横ばい又はゆるやかに減少していくと思われる。

⑶ 利用者アンケート

アンケートの実施状況
通所サービス利用者に配布して回収

回答数	職員の対応・マナー・説明、施設管理・サービス				主な意見（問題点）・対応（効果）
49 件	①非常に良い	43	件	87.8 %	挨拶や言葉遣いを丁寧にしていることが、利用者の満足度につながっている
	②良い	5	件	10.2 %	
	③ふつう	1	件	2.0 %	
	④悪い	0	件	0.0 %	
	⑤非常に悪い	0	件	0.0 %	

⑷ 住民サービス向上の取組・事例

地域のふれあいサロンへの出前講座、地域交流会の実施等を計画した。

３．自主事業について

総括	地域イベント等に積極的に参加したり、地域ボランティアと連携して清掃活動等をしている。また、認知症関係の学習会や救急法講習会等へ講師を派遣するなど、地域の理解を深める努力をしている。
実施状況	感染症蔓延防止のため、不特定多数との交流などは行わなかった。

４．施設の維持管理・安全対策について

故障など現場で発見したことは総務課へ報告し、修繕などを行う。
法人本部の衛生委員の職場巡視なども取り入れ、安全対策意識の向上、事故などを未然に防ぐ活動を行う

５．職員（従業員等）の接遇・研修について

身体拘束、虐待防止などの研修の実施、ミーティングを通しての接遇の研修実施